

Ⅲ 出願について

1. 推薦要件

教 育 学 部	次の各号の要件すべてに該当する者です。 (1) 高等学校を平成30年3月に卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を平成30年3月に修了見込みの者 (2) 学業成績、人物ともに優秀で、学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学を確約できる者 <u>学校教育教員養成課程における推薦人員は、区分（イ）を除いた（ア）～（サ）の区分ごとに1校につきそれぞれ1人とします。</u> <u>区分（イ）「小学校教育に関心をもつ者」については、1校につき3人まで推薦することができます。</u>
法 学 部	次の各号の要件すべてに該当する者です。 (1) 高等学校を平成30年3月に卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を平成30年3月に修了見込みの者 (2) 本学部に対する明確な志向と勉学意欲を持つとともに、学業成績、人物ともに優れ、調査書の学習成績概評がB段階以上で、学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学を確約できる者 <u>推薦人員は、1校につき4人までとします。</u>
経 済 学 部	次の各号の要件すべてに該当する者です。 (1) 高等学校を平成30年3月に卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を平成30年3月に修了見込みの者 (2) 本学部に対する明確な志向と勉学意欲を持ち、学業成績、人物ともに優れ、調査書の全体の評定平均値が4.0以上で、学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学を確約できる者 <u>推薦人員は、1校につき5人までとします。</u>
農 学 部	次の各号の要件すべてに該当する者です。 (1) 高等学校を平成30年3月に卒業見込みの者 (2) 本学部に対する明確な志向と勉学意欲を持つとともに、学業成績、人物ともに優れ、調査書の学習成績概評がB段階以上で、学校長が責任をもって推薦できる者 (3) 合格した場合は、入学を確約できる者 <u>推薦人員について、1校あたりの人数制限はありません。</u>
共 通	(注) ① 高等学校には、中等教育学校及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。 ② 「平成30年3月に卒業見込みの者」には、「平成29年4月以降に卒業した者」を含みます。

2. 出願手続

〔1〕 出願期間

平成29年11月1日（水）10時から11月8日（水）17時まで

（注）10月18日（水）10時からインターネット出願サイトへの入力（出願内容の下書き保存）が可能です。

〔2〕 出願方法

① インターネット出願サイトにアクセス 10月18日（水）10時から

インターネット出願サイト（四国地区国立5大学 出願サイト）
<https://shikoku.applyjapan.com/login/application>
にアクセスし、ユーザー登録を行ってください。

※出願サイトにアクセスできるのは、10月18日（水）10時からです。
※接続状態が不安定なスマートフォン、タブレットではインターネット出願が完了できない場合があります。利用環境が安定しているパソコンでの出願を推奨します。

② 入力～出願

画面の指示に従って、下記手順の通り間違いのないよう入力してください。
10月18日（水）から10月31日（火）までの間に入力した内容は下書きとして保存できます。出願登録は11月1日（水）10時から可能です。

入試方式・学部選択

↓

個人情報の入力

↓

推薦入試志望理由書の入力

（教育学部志願者のみ）

活動報告の入力

↓

出願内容の確認

③ 検定料の支払い 11月1日（水）10時から

検定料：17,000円

11月1日（水）10時から11月8日（水）17時までの間に、決済画面で以下の支払い方法から一つを選択して支払手続を行ってください。

1. 利用できるクレジットカード



2. 銀行ATM（Pay-easy）



3. 利用できるコンビニエンスストア



※手数料は無料です。
※クレジットカードの名義は志願者と同一である必要はありません。支払い方法は一括払いのみです。
※払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
① 検定料を払い込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
※入学検定料の支払い後は、入力内容の変更ができませんのでご注意ください。
※入学検定料の支払い後は、④入学願書等の印刷、⑤書類の郵送及び⑥受験票の印刷を必ず行ってください。

④	入学願書等の印刷
登録完了画面から入学願書，宛名票及び推薦入試志望理由書を印刷してください。 教育学部志願者は，活動報告を併せて印刷してください。	

⑤	書類の郵送	11月8日（水）17時必着																	
印刷した宛名票を角形2号封筒（郵送書類を折らずに入れられるサイズの封筒）の表面に貼付してください。 18 ページ〔4〕郵送が必要な出願書類等が全て揃っていることを確認して，11月8日（水）17時までに必着するよう，簡易書留・速達郵便で郵送してください。 なお，最終日11月8日（水）の9時から17時までに限り，郵送が必要な出願書類等の持参を認めます。 宛名票が印刷できない場合は，角形2号封筒に下記内容を記載してください。 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">(志望学部)</td> <td style="width: 30%;">(宛先)</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>教育学部</td> <td>〒760—8522</td> <td>高松市幸町1番1号 香川大学 教育学部学務係</td> </tr> <tr> <td>法 学 部</td> <td>〒760—8523</td> <td>高松市幸町2番1号 香川大学 法学部・経済学部学務第一係（法学部担当）</td> </tr> <tr> <td>経済学部</td> <td>〒760—8523</td> <td>高松市幸町2番1号 香川大学 法学部・経済学部学務第二係（経済学部担当）</td> </tr> <tr> <td>農 学 部</td> <td>〒761—0795</td> <td>香川県木田郡三木町池戸2393番地 香川大学 農学部学務係</td> </tr> </table> * 〔1〕志願者氏名 〔2〕郵便番号 〔3〕住所 〔4〕志望学部 〔5〕入試区分を必ず記入してください。 <table border="0"> <tr> <td style="width: 50px; text-align: center; vertical-align: middle;">注 意</td> <td> インターネット上に登録しただけでは正式な出願とはなりません。 登録完了後，出願書類を出願期間内に本学に郵送することで出願完了となります。11月8日（水）17時以降に到着した場合は，11月6日（月）までの消印があり，かつ「簡易書留・速達」であるものに限り受け付けます。 </td> </tr> </table>			(志望学部)	(宛先)		教育学部	〒760—8522	高松市幸町1番1号 香川大学 教育学部学務係	法 学 部	〒760—8523	高松市幸町2番1号 香川大学 法学部・経済学部学務第一係（法学部担当）	経済学部	〒760—8523	高松市幸町2番1号 香川大学 法学部・経済学部学務第二係（経済学部担当）	農 学 部	〒761—0795	香川県木田郡三木町池戸2393番地 香川大学 農学部学務係	注 意	インターネット上に登録しただけでは正式な出願とはなりません。 登録完了後，出願書類を出願期間内に本学に郵送することで出願完了となります。11月8日（水）17時以降に到着した場合は，11月6日（月）までの消印があり，かつ「簡易書留・速達」であるものに限り受け付けます。
(志望学部)	(宛先)																		
教育学部	〒760—8522	高松市幸町1番1号 香川大学 教育学部学務係																	
法 学 部	〒760—8523	高松市幸町2番1号 香川大学 法学部・経済学部学務第一係（法学部担当）																	
経済学部	〒760—8523	高松市幸町2番1号 香川大学 法学部・経済学部学務第二係（経済学部担当）																	
農 学 部	〒761—0795	香川県木田郡三木町池戸2393番地 香川大学 農学部学務係																	
注 意	インターネット上に登録しただけでは正式な出願とはなりません。 登録完了後，出願書類を出願期間内に本学に郵送することで出願完了となります。11月8日（水）17時以降に到着した場合は，11月6日（月）までの消印があり，かつ「簡易書留・速達」であるものに限り受け付けます。																		

⑥	受験票の印刷	11月11日（土）10時～11月18日（土）17時
インターネット出願サイトにログインし，受験票をダウンロードし，印刷してください。 印刷した受験票は大切に保管し，学力検査当日に持参してください。 * ダウンロード可能期間は11月11日（土）10時～11月18日（土）17時です。		

インターネット出願の操作等に関する不明点は，次の連絡先に問い合わせてください。

四国国立5大学インターネット出願専用コールセンター
TEL 082-545-4855
受付時間 平成29年11月1日（水）～11月8日（水） 10時から18時まで（土日含む）

〔3〕 インターネット出願で入力する項目

下表の①～④と、該当者のみ次ページの⑤を入力してください。

(全員が入力するもの)

	入 力 項 目	注 意 事 項	チェック欄
①	入試方式・学部を選択	志望する入試方式と学部を選択してください。	
②	出願者の基本情報	必要事項を入力してください。	
③	出 願 者 の 写 真	出願以前 6 か月以内に撮影した正面、上半身無帽の画像データ（JPEG形式）が必要です。 登録する顔写真の規格 下記の規格を満たす写真であれば、スマートフォン・デジカメ等で撮影したものでもかまいません。 ・カラー ・出願前 6 ヶ月以内に撮影した写真であること ・志願者本人のみ写っているもの ・正面向き、上半身（胸から上、顔がはっきりわかるもの）、無帽、無背景であること（顔に影がないもの） ・目元輪郭を隠していないこと ・ピントが合っていて鮮明であること ・画像に加工を施していないこと ・ファイル形式：JPEG ・ファイルサイズ10MB以内 ・縦：320ピクセル以上、横：240ピクセル以上 ※縦 4：横 3 で登録する必要があります。そうでない写真は出願サイト内でサイズ編集できます。 ・証明写真の再撮影のアップロードは避けてください。	
④	推薦入試志望理由書 (800字以内)	以下のことについて、800字以内で入力してください。 あなたは、なぜ香川大学に入学しようと思いましたか。 志望学部・学科・課程ではなにを勉強し、それを大学卒業後の人生でどのように生かしたいと考えていますか。	

(前記の他に該当者が入力するもの)

教育学部志願者		チェック欄
⑤	活 動 報 告	【意欲的に取り組んだ活動】 中学卒業後に意欲的に取り組んだ活動について該当するものがあれば入力してください。例えば、文化活動、スポーツ活動、生徒会活動、クラブ活動、海外留学体験、ボランティア活動などにおいて実績を挙げているものがあれば入力してください。 1. 入力する内容は、活動の概要(100字)、活動期間、活動の説明(努力・成果・貢献等)(300字)です。これらの字数は上限であり、無理に上限まで近づける必要はありません。 2. 複数ある場合は次の【課題研究】と合わせて3件まで入力できます。これらはあくまで入力の上限であり、件数による評価は行いません。 ※大会、展覧会、コンクール等での成績を入力した場合、その成績を証明できる書類のコピー(A4サイズで統一)を、出願書類等と一緒に郵送してください。なお、書類右上に資料番号を記入してください。提出された書類は返還しません。 【課題研究】 中学卒業後に取り組んだ課題研究について該当するものがあれば入力してください。 入力する内容は、テーマ、選んだ理由、概要(300字)・研究を行った人数、期間、補足説明(授与された賞、役割、感想等)(300字)です。これらの字数は上限であり、無理に上限まで近づける必要はありません。 【資格・検定等】 中学校卒業以降取得したものについて、該当するものがあれば入力してください。 1. 英語に関するものは3件まで、英語以外に関するものは10件まで入力できます。 2. 合格証書や認定書等の証明できる書類が手元にない場合は入力してはいけません。 3. 「資格・検定・コンテスト等の名称」は、合格証書や認定書等に書かれている正式なものを入力してください。 4. 「取得等の年月」は原則として合格証書や認定書等に即して入力してください。 ※証明書についてはコピー(A4サイズで統一)を出願書類等と一緒に郵送してください。なお、書類右上に資料番号を記入してください。提出された書類は返還しません。

〔４〕 郵送が必要な出願書類等

インターネット出願で入力及び検定料の支払いを行った後、下表の①～④と、該当者のみ⑤～⑧を郵送してください。

(全員が提出するもの)

	出願書類等	注 意 事 項	チェック欄
①	入 学 願 書	出願手続完了後、ダウンロードして印刷してください。	
②	推 薦 書	本学所定の様式を用いて出身学校長が作成し、厳封してください。 様式は本学ホームページ (http://www.kagawa-u.ac.jp/admission/admission_guide/242/) からダウンロードしてください。様式をダウンロードしてパソコン等で作成しても構いません。	
③	調 査 書	出身学校長が作成し、厳封してください。	
④	推薦入試志望理由書	出願手続完了後、推薦入試志望理由書をダウンロードして印刷してください。	

(上記のほかに該当者が提出するもの)

教育学部志願者			
⑤	活 動 報 告	出願手続完了後、活動報告をダウンロードして印刷してください。活動報告は全部で7枚（【意欲的に取り組んだ活動】が2枚、【課題研究】が3枚、【資格・検定等】が2枚）です。7枚全てを印刷して提出してください。該当がない場合も提出が必要です。	
	証 明 書 等 の コ ピ ー	資格・検定及び各種大会、展覧会、コンクール等での活動を入力した場合は、証明書等のコピー（A4サイズで統一）を一緒に郵送してください。なお、資料右上に資料番号を記入してください。	

教育学部 区分（ケ）「音楽教育に関心を持つ者」 志願者のうち以下に該当する者			
⑥	伴 奏 譜	実技検査において声楽を受験する者は、伴奏譜を提出してください。	

教育学部 区分（コ）「美術教育に関心を持つ者」 志願者			
⑦	作 品 リ ス ト	本学所定の様式を用いて志願者本人が作成してください。 様式は香川大学入試情報ホームページ (http://www.kagawa-u.ac.jp/admission/admission_guide/242/) からダウンロードしてください。様式をダウンロードして、パソコン等で作成しても構いません。	
	作 品 又 は そ の 真 作 品 の 写 真	作品又はその作品の写真を一緒に郵送してください。作品リストの番号を写真の裏面に記入してください。郵送できない場合は、試験当日に持参してください。	

経済学部志願者			
⑧	資 格 及 び 活 動 歴 調 査 票	本学所定の様式を用いて志願者本人が作成してください。 様式は本学ホームページ (http://www.kagawa-u.ac.jp/admission/admission_guide/242/) からダウンロードしてください。様式をダウンロードして、パソコン等で作成しても構いません。 資格の取得、あるいは大会、コンクール等での成績を証明する認定証、表彰状のコピー（A4サイズで統一）を添付してください。	

〔5〕 出願上の注意事項

- (1) 国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課する推薦入試，免除する推薦入試を含めて）への出願は，1つの大学・学部に限られます。
- (2) 法学部「推薦Ⅰ（大学入試センター試験を免除する推薦入試）」志願者は，法学部「推薦Ⅰ」に不合格になった場合でも，法学部が実施する「推薦Ⅱ（大学入試センター試験を課する推薦入試）」に出願することができます（他学部出願者は不可）。
- (3) 経済学部「推薦Ⅰ（大学入試センター試験を免除する推薦入試）」志願者は，経済学部「推薦Ⅰ」に不合格になった場合でも，経済学部が実施する「推薦ⅡA・推薦ⅡB（大学入試センター試験を課する推薦入試）」に出願することができます（他学部出願者は不可）。
- (4) この推薦入試に不合格になった場合でも，前期日程で試験を実施する大学・学部から1つ，後期日程で試験を実施する大学・学部から1つ，公立大学中期日程で試験を実施する大学・学部から1つ，合計3つの大学・学部に出願することができます。
- (5) 1. 出願書類が不備の場合は受理できません。
 2. 出願書類提出後は，記載内容の変更を認めません。
 3. 払込済の検定料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。
 - ① 検定料を払い込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
 - ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

※ 上記①又は②に該当される方は，

香川大学入試グループ TEL (087) 832-1182へご連絡ください。

3. 選抜方法

【教育学部】

小論文，面接，口頭試問及び実技検査の総合点により選抜します。

面接では，調査書，推薦書，志望理由書，活動報告を含め，総合的に評価します。

（注）本学が課している試験項目のいずれかを受験していない場合は，本学の合格者とはなりません。

〔1〕 配 点

区 分			小論文	面接・ 調査書等	口頭試問・ 実技検査	計
学校教育 教員養成 課程	幼児教育コース	(ア) 幼児教育に関心をもつ者	100	150	口頭試問 100	350
	小学校教育コース	(イ) 小学校教育に関心をもつ者	100	150		250
		(ウ) 特別支援教育に関心をもつ者	100	150		250
	中学校教育コース	(エ) 国語教育に関心をもつ者	100	150	口頭試問 200	450
		(オ) 数学教育に関心をもつ者	100	150	口頭試問 200	450
		(カ) 理科教育に関心をもつ者	100	150	口頭試問 200	450
		(キ) 技術教育に関心をもつ者	100	150	口頭試問 200	450
		(ク) 家庭科教育に関心をもつ者	100	150	口頭試問 200	450
		(ケ) 音楽教育に関心をもつ者	100	150	実技検査 200	450
		(コ) 美術教育に関心をもつ者	100	150	口頭試問 200	450
		(サ) 保健体育教育に関心をもつ者	100	150	実技検査 200	450

〔2〕 小論文

小論文は、大学生の資質として求められる論述の能力を評価します。素材は、特定の教科にかたよらず、広く人文・社会・自然・芸術等の分野から選ばれます。なお、評価に際しては、読解力や表現力などの基礎的能力に重点をおきながら総合的に評価します。

〔3〕 面接・調査書等

面接は、大学生としての資質、創造的な探求心や勉学意欲、人間性、そして、広く教育界での活躍をめざす者としての適性などの観点から行います。評価は、調査書、推薦書、志望理由書、活動報告を含め総合的に行います。

〔4〕 口頭試問・実技検査

口頭試問	区分（ア）「幼児教育に関心をもつ者」に志願する者には、大学が準備した素材を用いて特定の年齢の乳幼児に対する表現力を問う課題（試験当日に指定します。）を含んだ口頭試問を個別に行い、保育実践及び乳幼児発達への関心・理解を問います。口頭試問の前には、一定の準備時間を設けます。なお、持参した資料・メモ等は使用できません。 区分（エ）「国語教育に関心をもつ者」、区分（オ）「数学教育に関心をもつ者」、区分（カ）「理科教育に関心をもつ者」、区分（キ）「技術教育に関心をもつ者」、区分（ク）「家庭教育に関心をもつ者」及び区分（コ）「美術教育に関心をもつ者」に志願する者には、それぞれの教科の基礎的知識を問う口頭試問を個別に行います。 なお、区分（コ）「美術教育に関心をもつ者」に志願する者は、高等学校又は高等専門学校在籍中に制作した作品又はその作品の写真を、3点以上、事前に送付するか、送付できない場合は試験当日に持参してください。口頭試問は主にその作品について試問します。
実技検査	区分（ケ）「音楽教育に関心をもつ者」に志願する者は、下記の検査項目の（1）からa～cのいずれか1つと、（2）を合わせて計2項目を受験してください。 （1） a. ピアノ 任意のソナタの中より第1楽章又は終楽章を演奏する（ただし、緩徐楽章を除く）。 b. 木管楽器 任意の1曲を無伴奏で演奏する。 c. 声 楽 アリア又は歌曲より任意の1曲を演奏する（歌曲のみ移調可）。 備考 1. 演奏はすべて暗譜によるものとし、繰り返しは省略してください。 2. 木管楽器は、各自持参してください。 3. 声楽を受験する場合は、伴奏譜を入学願書に添えて提出してください。 （2） 旋律聴音 区分（サ）「保健体育教育に関心をもつ者」に志願する者は、下記の検査項目を受験してください。 一般運動能力テスト （ジグザグ走、20mシャトルラン、立ち5段跳び、長座メディシンボール投げ） 備考 1. 十分に運動のできる服装を用意してください。 2. 体育館シューズを持参してください。

【法 学 部】

小論文及び面接（調査書、志望理由書の評価も含みます。）の総合点により選抜します。

ただし、小論文又は面接のいずれか一方を受験していない場合は、本学の合格者とはなりません。

〔1〕 目 的

香川大学法学部は、法律・政治の分野で実社会に貢献できる人材を送り出すため、少

人数教育を重視し、ゼミナール形式の授業を4年間一貫して実施しています。そこで、本学部を志望する学生には、活発なディスカッションを通して、現代社会に対する鋭い問題意識を自ら育成し、自己の潜在的な能力を伸ばしていくことが求められます。従来型のペーパーテストでは十分に評価できないそうした資質を持った学生を、グループ・ディスカッション方式を導入することにより的確に把握することが、この推薦入試を実施する目的です。

〔2〕 配 点

小 論 文	面 接	計
100	120	220

〔3〕 小論文

設問に対する1,000字程度の論述を行います。問題は、広く社会・政治・法律・人文等の分野から選ばれます。評価の観点、受験者の論理的思考力、文章表現力、説得力などです。

〔4〕 面 接

面接は、グループ・ディスカッションを評価する方式で行います。グループ・ディスカッションは、ある問題の是非をめぐって議論を戦わせるディベート型ではなく、提示されたテーマについて問題そのものの理解と解決の方策を議論する問題解決型のものです。ディスカッションのテーマは、現代の社会に関するものです。

受験者は、テーマについて40分～60分程度のディスカッションを行います。その際、論理的思考力、説得力、他者の意見を理解し整理する能力、議論を積極的に発展させる能力などが多面的に評価されます。

受験者には、本年度のディスカッションのテーマが事前に送付されます。

【経済学部】

小論文、面接及び調査書（評定平均値は出願要件であり、特記事項のみを評価します。）の総合点により選抜します。

ただし、小論文又は面接のいずれか一方を受験していない場合は、本学の合格者とはなりません。

〔1〕 配 点

小 論 文	面 接	調 査 書	計
60	60	10	130

〔2〕 小論文

小論文の試験問題は、素材となる資料を提示し、その資料について受験者の論述を求めるという形式を取ります。評価の観点、資料を的確に理解し分析できているかどうかと、自分の考えを他者に伝えるために、文章を論理的に構成し、かつ分かり易く表現しているかどうかという点に置かれます。素材は、経済、社会等に関する分野から選ばれます。

〔3〕 面 接

個人面接とし、所要時間は10分程度とします。志望理由書・推薦書に基づいて質問し、的確な応答をしているか、発言が説得的で分かり易いか、社会問題について関心があるかなどの観点から評価します。

〔4〕 調査書の特記事項

調査書の特記事項とは、「特別活動の記録」及び「指導上参考となる諸事項」に記載されている事項で、特に評価に値すると認められるものをいいます。文化活動、スポーツ活動、生徒会活動、クラブ活動、海外留学体験、ボランティア活動、英語検定、簿記検定、漢字検定などにおいて特に顕著な実績を挙げているものを評価します。なお、文化活動及びスポーツ活動については、主催団体名と個人種目か団体種目かの別を明記してください。また、検定試験については、主催団体名を明記してください。評価にあたっては、最もよい一項目のみを対象とし、複数の項目を加算する方式は採りません。

なお、上記の特記事項の内容を一覧にした「資格及び活動歴調査票」の提出も併せて求めます。

【農 学 部】

小論文及び面接（調査書及び志望理由書の評価を含みます。）の総合点により選抜します。

ただし、小論文又は面接のいずれか一方を受験していない場合は、本学の合格者とはなりません。

〔1〕 配 点

小 論 文	面 接	計
100	100	200

〔2〕 小論文

小論文では、生物資源、生物生産、生命、環境、食料などに関する課題を与え、生物学と化学の素養（基礎知識と論理性）並びに文章表現力を審査します。

〔3〕 面 接

面接は、集団で行い、志望理由書並びに調査書を参考にしながら、志望する動機と修学に必要な科学的基礎学力、論理的思考力、自分の考えを的確に伝える表現力、勉学に対する意欲などを評価します。